

2020年 交通が金沢を変える

— 討論会コンセプト —

外環状道路組

萩原 扶未子

Humiko Hagihara

コンピュータ・ネットワークや企業内ストレス、ジェンダー、起業に関する講演会や研修、執筆など幅広く活動しています。

現在、仕事の傍ら、南山大学大学院と北陸先端科学技術大学院で、女性起業家の創出や起業家のジェンダー特性の研究に従事。

今年4月の外環状道路の開通を心待ちにしているひとりです。「生活が便利になる！時間が節約できる!! 地理的ハンディがなくなる!!!」

宮本 秀夫

Hideo Miyamoto

東京で4年修行の後、金沢に戻って家業の書店を継ぎ、現在、中心市街地に4店、郊外に2店の計6店舗を経営しています。

武蔵商店街理事長や武蔵活性化協議会会長を務め、武蔵周辺地区のまちづくりを考えながら、中心市街地と郊外の有り様やコンパクトシティ、さらに経済の活性化など、都市やまちづくり全般に関心を持っています。

大家 弘聡

Hirotohi Daike

金沢市都市計画課に在籍。これまで都市交通や道路部門に携わり、市民行政の最前線に立つ若手行政マンとして、日々、未来の金沢を模索中。去年は新潟中越地震の復興支援にも従事しました。環状道路の利便を求め、海側幹線沿いに新居を建築中であり、「早く家も道路も完成しないかな〜」と、愛娘との環状ドライブが待ち遠しい今日この頃です。

外環状道路 を活かしたまちづくり

VS

北陸新幹線 を活かしたまちづくり

<テーマ>

駅から始まる物語 ~新幹線がもたらす金沢の革新~

concept 1 コンパクトで
質の高いまちへ

concept 2 住みたい・
訪れたいまちへ

まちの提案 ... 質の高い軸状コンパクトシティ

交通の提案 ... 地球に優しく便利な交通

駅から始まる物語 ... 5つの提案

車主体から人が主役のまちづくりへ

<テーマ>

— W A (輪) — で変わる金沢のまち

POINT 1 外環状は
「支える」

POINT 2 外環状は
「つなぐ」

POINT 3 外環状は
「活かす」

提案 1 外環状と放射状道路のコラボレーション

提案 2 総合物流集配システム

提案 3 外環状を走るクルマに“もてなしナビ”

提案 4 金沢の四門~美しいみちづくり~

提案 5 歩いて楽しいまちづくり

北原 良彦

Yoshihiko Kitahara

金沢、七尾などで会社を経営。海外への視察経験も多数。先進地のまちづくり事情にも精通しています。

月2、3回程度、飛行機を利用して東京へ行き仕事をしており、新幹線で行き来ができるようになれば、ビジネスチャンスが広がると考えています。

以前、秋田や岩手に居住していましたが、新幹線開通後のまちの発展に驚いています。

山岸 淑子

Toshiko Yamagishi

豎町商店街振興組合理事。化粧品店経営。

自ら立ち上がらなければ街が壊れる。それがまちづくりへの出発点でした。北陸No1ストリートを目指した6年間の理事長時代のテーマは「人とお店が主役のタテマチ」。

北陸新幹線開業は、地域が培ってきた真の魅力をいかに発信するか、市民一人ひとりのやる気がためられる時でもあると考えます。

山本 昌貴

Masataka Yamamoto

北陸鉄道(株)に勤務。開発事業部、総務部を経て2001年から企画部に所属。主として、北鉄グループの対外広報・社内広報、宣伝を担当。

また現在、東北大学大学院博士課程にも在籍し、公共交通という公益性の高い事業に携りながら、公共政策と地域デザインを研究しています。

東北新幹線をよく利用。地域振興へのパワーを肌で感じています。

北陸新幹線組